

令和4年度旭川未来会議2030 子育て分野 第3回分野別会議 会議録

- 1 開催日時 令和4年6月17日(金) 午後6時30分から午後8時20分まで
- 2 開催場所 旭川市子ども総合相談センター 2階 研修・会議室2
(旭川市10条通11丁目)
- 3 出席者(参加者) 早川由理
丸山恵理
山田覚
吉田育子
※敬称略, 五十音順
- 4 出席者(市側) (運営事務局)
子育て支援部 浅田部長, 竹内次長
子育て支援課 高橋課長補佐, 清原子育て企画係主査
おやこ応援課 川村課長, 柴田主幹, 堤課長補佐, 宮城こども健康係主査
- 5 会議の公開・非公開 公開
- 6 傍聴者 2名(傍聴1名, 報道機関1名)
- 7 意見交換
※進行役: 吉田育子
※過去2回の会議での意見を取りまとめたスライドをスクリーンに投影しながら, 当該スライドの内容を確認, 修正する形式で会議を開催した。

(1) 議題「(仮称) あさひかわおやこひろば」について

ア 意見の取りまとめについて

●遊びの空間について

(参加者)

- ・木製玩具には, 「旭川」というキーワードを入れてほしい。

(参加者)

- ・旭川産の木製玩具は多くない。
- ・旭川産の木製の季節の飾りはあるので, そうしたものだけでも置けるといい。
- ・勤めている保育所では, 小さい子には「できた」と感じられるような玩具を用意し, 3歳より上の子には一人で黙々と遊べるもの, 友達と関わりながら遊べるものを用意しているが, 旭川産ではない。

(参加者)

- ・旭川産という言葉は入れていいと思うし、配置する玩具全てが旭川産でなければいけないわけではないと思う。
- ・代表的なものだけでも、説明とあわせて置いてあって、季節の飾りなどで旭川のもので置ければ十分だと思う。

(参加者)

- ・もりもりパークにある、いろいろな木のプレートで作られた「ゆるやかさかみち」が好き。木の樹種や色の違いがわかるし、その小型版があると素敵だと思う。

(参加者)

- ・既製品以外でも、オリジナルで作ってもらいたいと思う。

(参加者)

- ・旭川の木工クラフトの会社の製品を一部でも置けたらいい。

(参加者)

- ・たくさんあるよりも、少ないほうが印象や記憶に残りやすいかもしれない。

(参加者)

- ・各部屋のサインを木製にするのもいい。

(参加者)

- ・仕切りが木製で、おもちゃのようにしているのもいい。

(参加者)

- ・仕切りや棚などを可動式にして、利用状況にあわせて柔軟に空間を作り上げていけるといい。

(参加者)

- ・この場所を利用する親子が育っていくように、この施設も、最初から完璧ではなく、使っていく過程で見えてくる問題を解決しながら、一緒に育っていくというのはいいい。

(参加者)

- ・コロナが落ち着いたら市外から来る人もいるかもしれない。そのときには旭川の顔になる場所でもあるので、旭川とわかるものも置きたいし、利用者が増えたときにも対応できる施設の作り方として、弾力的な運用ができるといい。

(参加者)

- ・コロナが終わったときの乳幼児健診の1回当たりの受診者数も変わってくる。
- ・様々な状況の変化に柔軟に対応できる運用を意見として追加する。
- ・あとで出てくるが、おもちゃの選び方などを教えてくれる講師の方のイベントなどは、お母さん方の関心も高いと思う。

●愛称について

※具体例として、次の愛称案を掲示した状態で議論した。

minnade (ミナーデ, ミンナデ)

リウカ (アイヌ語で「橋」の意)

ココカラ (ココカラー, 個々color)

おやこーで (おやことコーディネートの組み合わせ)

おやこたん (おやことコタンの組み合わせ)

ヨリソウ（親子に寄り添う）

wakaば（w=wakuwaku, a=anshin, k=kosodate, a=asahikawaの頭文字と「ば=場」を組み合わせ、「若葉」と掛けた。

（事務局）

- ・欠席された方から、愛称について意見をいただいているので紹介する。
- ・1名の方は具体例のどれもいいので、決めかねるとのこと。
- ・1名の方は「おやこーで」が耳に残ったとのこと。
- ・1名の方は、前回会議で出た「架け橋」というワードがいいと思ったとのこと。

（参加者）

- ・架け橋を意味するアイヌ語があればよかった。

（参加者）

- ・いろいろ調べたが見つからなかった。

（参加者）

- ・個人的には、地域のみんなで子育てを支えるというのがわかりやすいので、ミンナデがいいと思った。

（参加者）

- ・「おやこーで」の「コーディネート」するというのが上から目線に感じる。一緒に子育てしていこうというよりは、一方的にコーディネートしますよという印象を受ける。
- ・「wakaば」は、意見で出た「芽」ともリンクするし、響きもかわいい。ただし、表記は考える必要がある。

（参加者）

- ・必要な要素がうまくまとまって入っているし、「芽」や「新緑=始める」という意味ともつながるので、「wakaば」が気になる。響きや長さもいい。

（参加者）

- ・おやこたんも旭川らしいし、かわいらしい。

（参加者）

- ・意味合いとしての橋はいいが、リウカだけだと伝わりにくい。

（参加者）

- ・名前を聞いただけでイメージできるほうがいい。

（参加者）

- ・リウカは、愛称以外の例えば広報のタイトルなどで使えるのではないか。

（参加者）

- ・ヨリソウもあの場所のイメージとは違う。
- ・ダイレクトすぎても響かない。

（参加者）

- ・ヨリソウは、愛称を口に出して言うときに躊躇する。

（参加者）

- ・ヨリソウは違う気がする。
- ・「こーで」というと服のコーディネートをイメージするので、おやこーでも違う気がする。

(参加者)

- ・市外の子育て関係施設の名称を調べてみたら、小文字の「っ」が入っていたり、伸ばし棒が入っているものが多かった。言いやすかったり、似てる響きが多いので馴染みやすいというものもあると思う。
- ・旭川らしい独自のものでいくか、覚えやすい似たような響きのものにするのか、という選択はあると思う。

(参加者)

- ・その点で言うと、もし「minnade」になるとしたら「ミナーデ」のほうがいいのかもわからない。

(参加者)

- ・今日の議論を踏まえると、「minnade」、「wakaば」、「おやかたん」が残る。

(参加者)

- ・おやかたんは、パッと聞いたときに「おやこ」と「コタン」をかけていることがわかる。コタンは神居古潭で馴染みがあるので、説明しなくてもわかる。

(参加者)

- ・「minnade」は、アルファベットよりカタカナかひらがなのほうがわかりやすい。

(参加者)

- ・ひらがなだと違和感があるので、カタカナがいいかな。

(参加者)

- ・「n」が二つ重なるところが気になる。

(参加者)

- ・「n」を一つ抜くと「minade (ミナデ, ミナーデ)」。

(参加者)

- ・自分は「wakaば」が好きだが、表記が気になる。
- ・アルファベットそれぞれに意味があるのもいい。

(参加者)

- ・名称として覚えやすいし、子どもがすくすく育つイメージともつながる。

(参加者)

- ・「wakaば」の「ば」を葉のイラストにできないか。そのイラストの中に文字を入れたり。

(参加者)

- ・「wakaば」はいいが、アルファベットとひらがなの組み合わせがピンとこない。

※スライド上で「waka・ba」を表示。

(参加者)

- ・その表記もいい。

(参加者)

- ・間に「・」が入ることでおしゃれな感じが出る。

(参加者)

- ・どこかに「芽」や「葉」のイラストを入れてほしい。

(参加者)

- ・「・」の部分イラストにできないか。

(参加者)

- ・「芽」に「じょうろ」で水をあげているイラストとか。

(参加者)

- ・「waka・ba」を愛称にすると、室内など全体の雰囲気づくりがしやすい。

(参加者)

- ・色や柄など全体のコーディネートもしやすいので、「waka・ba」がいいのでは。

(参加者)

- ・水やりの雫が水色でなくても、「愛」のイメージがあるピンクや、幸せの黄色などの色で意味合いを持たせるのもかわいい。

(参加者)

- ・ココカラの「カラー（個性）」という要素も盛り込める。

(参加者)

- ・若葉から育って、木になるとか。

(参加者)

- ・そういうイメージが壁とかにあると、親子の育ちと重なるし、メッセージ性があるといいかもしれない。

(参加者)

- ・若葉から成木になるまでの過程を健診などの順番を伝えるイメージとして使ってもいいかもしれない。
- ・旭川にちなんだ植物の若葉を絵で描くのもいい。

(参加者)

- ・木のどこかに旭山動物園の動物が隠れていたり。

(参加者)

- ・愛称候補は「waka・ba」にする。

●将来的に付加する機能やイベント

(参加者)

- ・前回、お父さん向けのイベントだけでなく、お母さんがリフレッシュできるようなイベントなど、いろいろなイベントがあるといいという意見が出たので、そうした内容を入れてほしい。

●私たちが考える場所の在り方

(参加者)

- ・室内について、荷物を入れるロッカー、腰掛けて話せるイスやテーブル、飲食可能なスペース、落ち着いて話せるブースなどがあるといい。

(参加者)

- ・健診スペースとフリースペースの間にある空間をイベントスペースにして、「動」から「静」への緩衝地帯のように、ゆるやかな仕切りとしてもいい。

(参加者)

- ・前段でも意見が出たが、完全に作り込むよりは、可動式で柔軟に対応できるほうが後々も使いやすい。

(参加者)

- ・イベントの規模や種類に応じていろいろな形で仕切れるといい。

(参加者)

- ・トイレに荷物を置く場所があるといい。

(参加者)

- ・子ども用の便器があるといい。

(参加者)

- ・会議での意見がまったく反映されないということもあるかもしれないので、どこまで意見が反映されたのか知りたい。

(事務局)

- ・いただいた意見の反映結果についてはお知らせできる。

(参加者)

- ・お父さんが健診に連れてくることもあると思うので、男子トイレにもベビーシートやベビーベッドを置いてほしい。

(参加者)

- ・将来的に付加するイベントについては、第2回会議でたくさんの意見が出た。
- ・子どもについての学び、親である自分への学び、離乳食、いたずらも子どもの成長に重要であるという学びなど、とても幅広いので、簡単にまとめられない。

(参加者)

- ・子育てに関する学びのようにまとめて、例として、これまでの意見を箇条書きするとか。

(参加者)

- ・わらべうた、ヨガなど、たくさん意見が出た。

(参加者)

- ・知りたいことなどを気軽に投函できるポストのようなものがあり、次のイベントなどに活かせるといい。

(参加者)

- ・そうした意見を踏まえて、行政が民間の方をコーディネートし、イベントを企画するとか。
- ・お父さん向けに、お父さんの役割としてお母さんのサポートがとても重要であることを伝えられるイベントがあるとうれしい。

(参加者)

- ・「子どもを見てるから寝なよ。」とか「買い物してリフレッシュしておいで。」などの一言があるだけでも違う。
- ・第2回会議で出た意見はどれも大事なもので、全てを載せてほしい。

(参加者)

- ・市長にも、これだけたくさんの意見が出たということを知ってほしい。

(参加者)

- ・お母さんが子どもと離れて、アンガーマネジメントや成長発達の過程など、子どもがいるとじっくり聞けないような話を、ゆっくり聞けるような機会があるといい。
- ・子どもを預かってくれて、子どもの泣き声も聞こえない環境でそういう話が聞けると、その間の1時間でもお母さんはほっとできる。

(参加者)

- ・託児サービスがあるといい。

(参加者)

- ・旭川はなんでも一通り揃っているし、とてもいいところなので、お父さん目線で、住居や仕事などの情報発信やイベントを通じた情報交換といった、移住定住のきっかけになるような取組もできるといい。

(参加者)

- ・デジタルサイネージなどで、子育て支援部以外の子育てに関する情報も発信されているといい。
- ・みんなが知りたいと思う情報を広く発信する掲示板のようになれば。

(参加者)

- ・その日のイベントなどにあわせた情報が発信されるといい。

(参加者)

- ・フリースペースのほか、エレベーター近くにもそうしたものがあるといい。

(参加者)

- ・2か所にあるのが理想。

●おやこひろばにより目指すまちの姿

(参加者)

- ・「取り残されていることがないと感じる」というより、「孤独じゃない、一人じゃない」というほうが感情的に訴えかけられるのでは。

(参加者)

- ・「みんなで、地域で子どもを育てていく」ということを入れたい。

(参加者)

- ・「取り残されていると感じることがない」という否定表現ではなく、「一人じゃないよと感じられる」という肯定表現のほうがいい。

(参加者)

- ・楽しさや喜びも共有できるというのはいいい。

(参加者)

- ・これまでの意見で出た、「寄り添う、架け橋、つなぐ」というキーワードを入れたい。
- ・「親子、民間、行政の地域全体で子どもを育てるまち」のような。

(参加者)

- ・以前の資料にあった、児童虐待のリスク軽減や早期発見・対応が可能な体制の構築という表現をやわらかく言い換えられればいいが。

(参加者)

- ・早期発見・対応が可能な体制は、まさにみんなで子どもを育てていくということ。
- ・親子をサポートするという表現を入れたほうがいいか。

(参加者)

- ・市も連携してサポートするということになるか。チームとか。

(参加者)

- ・それらをひっくるめて、子育てを地域みんなでするまちということになるので、その補足説明として、連携、サポート、つながり、架け橋という言葉を入れて、子育ての楽しさや喜びも共有できるまちで締めたら十分に伝わると思う。

(参加者)

- ・一人で抱え込まない、頼っていいんだ、安心安全な、あたたかい場。

(参加者)

- ・虐待などの事件があると、どこにも相談できなかった、どこに相談していいかわからなかったということをよく耳にする。

(参加者)

- ・子育て支援は親支援につきるという話がある。
- ・親子は、困れば困るほど相談できなくなるということがあるので、その前に早期発見するためにも、相談しやすい雰囲気づくりが大事。「相談受けますよ」ではなく、なにげない声かけ、立ち寄りのついでに漏らした声をキャッチして支援につなげることが大事。

(参加者)

- ・悩みなどを口にする自分がダメだと思ってしまいがちで、言いたくても言えない。些細なことでも言っているんだよということを伝えたいが、端的に言葉で表そうとすると難しい。

(参加者)

- ・初めて会う人にはなかなか言えない。

(参加者)

- ・「聞かせてよ」と言うと、こっちが聞きたいという気持ちが伝わりやすいか。

(参加者)

- ・何回も顔を合わせて、信頼関係ができた上で話せることと初めての相手でも話せることは違う。深い話ができて、話せてよかったと思ってもらうためには、何度も足を運びたくなるような楽しい場所、お母さんがほっとできる場所になるためには、リピートしてもらうことが大事になる。

(参加者)

- ・一人の悩みはみんなの学びだったりするので、そう思えるようになれば。

(参加者)

- ・恥ずかしいとか、弱みを見せられないと思いがちで、なかなかそういう思いになれない人が多い。

※意見を基に事務局で案を作成し、改めて確認することとした。